

教科名	情報	科目名	応用情報	年次	3年次	単位数	2
準教科書	ベストフィット情報Ⅰ (実教出版)		副教材	大学入学共通テスト対策情報Ⅰ徹底演習 (数研出版) ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー			

1 担当者からのメッセージ

大学入学共通テストの受験に向けて、問題集による演習を中心に、情報Ⅰの内容を深めていきます。2年次に学習した情報Ⅰの学習を発展させた内容であるため、情報Ⅰを履修している3年次での履修を基本としています。進学希望、就職希望のどちらであっても、officeソフトやプログラミングなどの情報知識は現代社会に必要不可欠です。実社会に出て必要な情報技術を学習し、高校生のうちにICTリテラシーを高めましょう。

2 学習の到達目標

大学入学共通テストの情報Ⅰを受験するために必要な知識を身につける。情報と情報技術を適切に活用して、高校を卒業して必要になるICTリテラシーを身に付ける。マイクロソフトのWord・Excel・PowerPointの使い方を再度実習する。またプログラミングをすることにより、グループで作品を作り、発表をする。

3 授業の進め方

- ① 学習の持ち物について : 準教科書、副教材、タブレット
- ② 授業では教材を中心に進めていくが、終わらなかった範囲は次回までに各自で学習しておく。
- ③ 授業の進度が早く、時間が足りないと思う場合は、必要に応じて予習をしてくる。
- ④ 教材の内容をもとに、実習や課題提出などをおこなう。

4 学習計画

		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期 中間	情報社会、情報デザイン、デジタル	情報社会、情報デザイン、デジタルについて復習し、内容を深める。
	前期 期末	ネットワーク、問題解決、プログラミング	ネットワーク、問題解決、プログラミングについて復習し、内容を深める。
後期	後期 中間	分野別演習、パターン別演習	分野ごとに基本的な用語の確認や問題演習をおこなう。 出題パターンごとに問題演習をおこなう。
	学年 末	実践演習 officeソフトやプログラミングを用いたファイルの制作実習	実際の大学入学共通テストに近い形式の問題を演習する officeソフトやプログラミングを、実習を通して学習させる。 scratch、MESH、マイクロビットなどを使い、問題解決に挑戦する。身近な問題を見つけ、作品を作る。

5 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めることができる。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことができる。

6 評価方法

計35時間(50分授業)

上記の観点を踏まえ、定期考査、宿題などの提出された課題、学習態度、振り返りシート等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%